

宮崎県在京経営者会議だより



第4号

宮崎県在京経営者会議
発行責任者/高山弘憲
事務局/佐土原正和
〒104-0084
東京都千代田区二番町5-7
JP本社ビル内
TEL.03-3265-2911
FAX.03-3265-1109

協力体制による活性化を

宮崎県在京経営者会議会長 高山弘憲



新緑の季節が訪れております。

会員の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、世界経済は米国の同時多発テロの後遺症が完全に回復しないまま、国家及び地域紛争が重なり、全国的に低調さみです。

日本経済にあつては、相場用語でいう「陰の極(悪材料が重なつて相場がじり貧し、八方塞がりとなる)」が到来したといわれていたが、最近ようやく下げ止まりの景況を示し、景気回復の兆しが見え隠れしつつあると評論されております。

このような情勢の中で、4年目を迎える本会は「宮崎県観光・物産ツアー(4月)」、

新事務所紹介

幹事長 河野昭

会員と宮崎県の高校・大学による「求人・求職説明会(5月)」「南の国観光物産展への協賛(5月)」、また、新年に入つて宮崎県産業活性化協会との交流「首都六・六開発地域の視察」「商談会」「懇親会」などを実施し、

両会の目的、趣旨、事業内容などの認識を深めることができました。

近來の時局に見られるきびしいデフレ現象を克服し、ジャパニーズドリーム環境の創造に寄与するには、供給の新陳代謝システムと個人消費を通じて中小企業のさらなる活性化が必要であり、当会にあつては特に

会員相互のより強い団結とともに宮崎県及び宮崎県産業活性化協会との親密な交流を積極的に推進することが重要であります。

おわりに際しまして、皆様方の益々のご自愛とご協力及びご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

宮崎県在京経営者会議事務局は、この度「東京都千代田区二番町5-7(ジャパンプロテクシヨン株式会社内)」に移転した。

ジャパンプロテクシヨン株式会社は、警備保証会社の草分けとして1969年に

高山会長が設立し、「社業を通じ公共の安全と秩序を守り、社会の平和と繁栄に貢献する」を社是として

現在に至り、創業30有余年を迎えた。新社屋は、日本テレビ前、ベルギー大使館に隣接する

年頭の1月18日、本社ビ

ルの竣工により上記3社と1機関が一挙に移転したもので、当事務局も同時にその二画を借用することとなった。

同日、新装なった同ビルで竣工披露宴が行われ、政界、財界、言論界、スポーツ界などから約200名が参列し、

当会からも日高顧問、興柁山中各副会長、泥谷監事、河野幹事長ら多数が竣工を祝福した。

本席において、高山会長から3階のセミナールーム、9階の応接室及び会議室の当会及び事務局の施設利用について協力したい、旨言葉をいただいた。

同社(ビル)の一つの特徴について紹介したい。

動乱の幕末や維新の難局を克服する人材を多数輩出した。特に、日清・日露の外交官として活躍した小村寿太郎候がこの藩校で学び欧米露の烈強と粘り強くわたりあい近代国家としての日本を築く礎となつたことは有名な話であり、

高山会長の曾祖父が当時この藩校で多くの傑出した人材の育成に尽力されたという経緯がある。

高山会長は、日本のよき伝統文化を重んじ、21世紀を創造し、道を追求しようとする若人の将来に期待してこの道場を創設し「振徳」を求め、またこうした精神を傳承していきたい、とその意を述べている。

高山会長は、献身的なボランティア精神をもって本会の基盤づくり、併せて

会員の固い結束のためにご尽力下さっていることに対し、心より感謝申し上げます。参考までに、事務局の郵便番号と電話番号を付記する。

〒102-0084
TEL.03-3265-2911

〈ご案内図〉



ジャパンプロテクシヨン株式会社 本社ビル

私の会社を紹介します

株式会社 日庄

代表取締役会長 黒木啓



しており、好・不況の影響も比較的少なく安定した業績で推移しております。

創立者は、昭和27年ヘルシンキオリンピックで、日本の戦後最初の金メダルを獲得されたレスリングの石井庄八氏であります。創業当時各大企業のトップの方々が、「石井の会社を応援してやろう」とご好意を寄せて下さったことが、並み外れた優良得意に恵まれて安定した成長を遂げられた最大の理由であり、私達は石井先輩の御恩を忘れずまたお得意様各社のご好意に報いる為、より高度なサービスを提供し続けるべく日夜努力して参りたいと考えています。また石井先輩はご自分の体験から得られた数々の教訓をもって私達を指導して下さいました。その一つに「初心忘るべからず」と云う言葉があります。先輩は終戦時海軍特別航空隊に所属して、特攻隊で出撃して行った親友、戦友を見送った辛い経験があり、戦後中大でレスリングを始められた動機は「戦友の慰

弊社は新聞・雑誌広告の制作製版及び広告関連印刷物の制作印刷を主業務として、日本橋人形町に位置し、社員数約二百名、創業三十六年の会社です。中小企業ながら、製版業界では二十数年来シェア・規模共に業界トップの地位を維持しています。取引先としては、電通・博報堂を中心とした広告代理店各社、並びにトヨタ、東芝、野村證券等のトップ企業多数を網羅



作業風景

められた動機は「戦友の慰居ります。」

今日、企業を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、私達は初心を忘れず、技術革新に注力して、対応しながら着実な歩み

霊の為にオリンピックに出て欧米の選手を打ち負かしてやる」即ち仇討ちだったのです。その強固な初心があったればこそ、貧しい食生活の時代に猛烈な練習に耐え、戦後第一号の金メダルを獲得すると云う偉業を成し遂げられました。

株式会社 ビーフル

代表取締役社長 椎葉 捷義



平成15年度採用の社員は宮崎県内の学校卒業生を中心に予定しております。会員各位様のご推薦を賜りましたならば、率先面接させて頂きますのでよろしくお願い申し上げます。

【会社概要】
商号：株式会社 ビーフル
所在地：東京都目黒区南一丁目15番5号
設立：2001年4月1日
(創業昭和58年)
資本金：5000万円
取引銀行：三井住友銀行
洗足支店
社員数：45名

【事業理念】
ビーフルは「快適な住空間の創造」を推進してまいります。

新しい暮らしや街づくりの可能性を追求し、多様な生活スタイルに応じた快適な住環境を皆様にご提供します。

【社名の由来】
「ビーフル」はフランス語で「生活」を意味する「Vie(ヴィー)」と「提案」を意味する「Vie(ヴィー)」

「Offre(オッフール)」に由来、理想にあふれた快適空間、これからの社会に生活提案としての立場から貢献していく姿勢。



本社ビル

【事業内容】

●開発事業部
●デザイン企画課
様々なニーズに応える斬新な発想で、きめ細かなプランを生み出します。また、緻密な情報分析に基づいた企画、調査まで、より幅広く高度な視野でリンクする建設計画の実現に向けてコンサルティングします。

●モデルビルド課
施工管理のエキスパートを中心とした施工スタッフが担当し、モデルルームの建築施工を行います。

●インテリア事業部
●設計プランニング課
暮らしやすさを第二に考えた、新しい時代の快適性を追求し、専門建築士、インテリアコーディネーターが、お客様のご希望を適える、適切なプランをご提案します。

●物販課
より便利で快適な毎日のためのライフスタイルを企画。住宅販売に関する代理業務を、速やかに適切にサポートします。また、オプション商品類の販売も行います。

●リニューアル事業部
●リニューアル課
高度な先端技術を活かし、多彩なニーズに的確に対応。お客様の立場に立ったリフォームを実現するスーパーリフォームや、メンテナンスなど一切を取り扱います。また、大規模修繕工事、リフォーム工事にいたるまで多彩に、工事の設計・積算・施工管理を行います。

●建築課
街の景観にも配慮した、これからの環境づくりにも一役かつていきます。店舗をはじめ、商業施設など大規模工事の設計から施工まで、幅広く工事全般を取り仕切ります。



1Fショールーム 「カテランイタリア」ギャラリー



本社ビル

松浦会計事務所

所長 松浦 成利



所在地／東京都新宿区西新宿七十八十八 新宿税理士ビル三〇四
創業／昭和三十六年二月七日

- 〔事業種目〕
- 一、税務、会計
- 二、不良債権処理コンサルト
- 三、社員教育訓練(話し方教室)

◎法人税

クライアントが作成した商法上の決算書を基に、法人税法の規定に従って、法人税の確定申告書を作成する。商法上では例えば交際接待費が全額費用として処理されていても、法人税法上では一部損金扱いができない。従って、商法上の当期利益と税法上の所得金額が異なるのである。

◎相続税

相続人が死亡すると、民法九〇〇条等相続編を基に相続税の申告書を作成する業務を行う。相続税の

基礎控除は(五千万円+相続人の数×二千万円)である。相続人が二人の場合は八千万円である。

最近では地価下落により、相続税の額も相当低くなってきた。

二、不良債権処理コンサルト
平成十二年二月、中小企業向け特定調停法ができた。同年四月、民事再生法ができた。特定調停法はすばらしい法律であり、バブル後の中小企業向け不良債権処理特効薬である。

企業が稼いだ金が過去の借金返済に流れている。企業が稼いだ金は現在、若しくは将来使える流れにしなければ消費は伸びないし、景気が上向く訳がない。バランスシート不況である。

三、社員教育訓練(話し方教室)
口先だけ上手に話すのではなく、良い人間関係を作る具体的な方法としての話し方を勉強します。話す能力を身につける練習をする。



著書

「借金棒引き、特定調停法は会社再生の特効薬」

株式会社 山喜

代表取締役 河野 高亮



山喜を創業したのは昭和39年、23歳の時だった。脱サラしての独立である。

当初販売していたのは素人にも出来る珍珠の袋詰販売。まだ町の酒屋が元気の時代でつまみとして置いてくれる所が多かった。

昭和41年頃からスーパーが台頭してくる。小売業の形態もこの頃から徐々に変化をして行き昔の魚屋、八百屋、乾物屋がスーパーに押され消えてなくなり現在は町の至る所にコンビニエンスストアが競合しあっている。

丁度スーパーが台頭し始めた頃、そこへ営業をかけたのだが相手にしてもらえなかった。自分で何か製造しなければと感じたのがメーカーへの出発点である。

とはいうものの資金がない。いろいろ調べたら甘納豆なら鍋と豆と砂糖があれば出来る、甘納豆を作り始める。これが珍珠販売か

ら菓子メーカーの転換になつていく。

昭和47年株式会社山喜を設立し人形焼の製造を始める。

昭和55年ワッフルの自動ライン、人形焼の自動ライン。そして57年にどら焼の自動ラインを導入し本格的に菓子メーカーへと変化していく。



得意先も量販店、コンビニエンスストア、全国生協連合会、航空会社の機内茶菓、ビール販売用おつまみ等と販路も広がり現在に至る。主な製造品は人形焼、ワッフル、どら焼き、珍珠加工品。資本金2千万円、従業員70名(パートも含む)。

タチホエンジニアリング株式会社

代表取締役 永野 監持



宮崎郡佐土原町出身の永野監持です。

創立以来、生活空間に「癒し」「潤い」をテーマとして、歯科業界においては、TOTTO製「うがい用鉢」(陶器)及び医療テーブルには「人工大理石」商品提案、納入しています。

平成十三年十一月より、磁器製絵柄付の国内初の洋式トイレその他洗面鉢の、新商品を開発に参加、新市場にチャレンジ致しました。ブランドネームは「アリタエレガンス」の名称で誕生致しました。

新商品を育てる課題の一つは、販売拠点「ショールーム」の開設でしたが、在京経営



者会議のメンバー、(株)ビーフル椎葉社長の支援と協力のもとに、時代を先取りしたショールームが実現致しました。

今回の「アリタエレガンス」新商品の新しさは、例えば宮崎の県花「はまゆう」を、イメージした、各ニーズに合わせた絵柄が、デザイン出来る所は、「ユーモアのある商品」として、提案製作致しました。

今後、この商品の成長する道は、皆様の声、ニーズを反映した「生き残るためのデザイン」が、重要になってきます。

東京洗足ショールームにオープン致しましたので、皆様の御来店とお声をお待ちしています。



13年度新会員紹介

<50音順>



井上隆夫 (イノウエ タカオ)
 ●生年月日 昭和25年12月24日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 ㈱トランスコンテナ
 ●役員 取締役経営企画室長
 ●趣味 ゴルフ、音楽鑑賞
 ●推薦者 河野昭
 米国、アジア諸国を主に、国際海上貨物輸送に携わつてきました。よろしくお願いたします。



内野経一郎 (ウチノ ケイチロウ)
 ●生年月日 昭和11年10月15日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 東京第一法律事務所
 ●役員 弁護士
 ●推薦者 高山弘憲
 新参者です。よろしくお願いたします。



緒方孝憲 (オガタ タカホリ)
 ●生年月日 昭和15年2月1日
 ●出身地 東諸県郡綾町
 ●会社名 日都産業㈱
 ●役員 メンテナンス部長
 ●趣味 スポーツ、旅行
 ●推薦者 興相三男
 経営に携わる御立派な方々と知り合っている人脈を通じて人生の充実はもとより、会社業績向上の為に頑張りたいと思います。会員の皆様のお引き立てをよろしくお願いたします。



小澤三敏 (オサワ ミツヒコ)
 ●生年月日 昭和10年12月9日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 住友重機械工業㈱
 ●役員 取締役会長
 ●趣味 ゴルフ、書道
 ●推薦者 高山弘憲
 宮崎の温暖な気候と、人情味あふれる風土を常に忘れないよう努力します。どうぞよろしく。



川竝和子 (カワナミ カズコ)
 ●生年月日 昭和37年7月15日
 ●出身地 清武町
 ●会社名 ㈱オーバ
 ●役員 代表取締役
 ●趣味 旅行、観劇
 ●推薦者 河野昭
 故郷宮崎を更に魅力的な地域にすべく活動しておられる当会に参加させて頂き幸甚です。



郡司聡視 (グンジ サトシ)
 ●生年月日 昭和38年10月16日
 ●出身地 日南市
 ●会社名 プルデンシャル生命保険
 ●役員 保険エージェント
 ●趣味 沖釣り
 ●推薦者 高山弘憲
 全米最大級の外資系金融会社の保険部門で、プロのライフプランナーとして働いております。



高山文彦 (タカヤマ フミヒコ)
 ●生年月日 昭和33年3月7日
 ●出身地 高千穂町
 ●会社名 著述業
 ●役員 作家
 ●趣味 散歩、映画、音楽鑑賞
 ●推薦者 興相三男
 よろしくお願いたします。



田崎雅元 (タザキ マサモト)
 ●生年月日 昭和10年9月6日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 川崎重工業㈱
 ●役員 代表取締役社長
 ●趣味 ゴルフ、音楽鑑賞
 ●推薦者 河野昭
 座右の銘は「着眼大局、着手小局」英語で表現すれば「Think Globally, Act Locally」



田中勉 (タナカ ツトム)
 ●生年月日 昭和22年4月1日
 ●出身地 日南市
 ●会社名 日本カルミック㈱
 ●役員 執行役員
 ●趣味 ゴルフ、競馬
 ●推薦者 高山弘憲
 昨年暮の高山会長のJ.P.ゴルフコンペで鬼束先輩と一緒にラウンドさせて頂いて事業に対する姿勢、故郷を想われる心に感動しました。皆様と共に東京と宮崎の掛橋に少しでも役立ちたいと思います。



長倉正 (ナカクラ タカシ)
 ●生年月日 昭和18年10月19日
 ●出身地 日南市
 ●会社名 東和エンジニアリング㈱
 ●役員 代表取締役
 ●趣味 水泳、ゴルフ
 ●推薦者 高山弘憲
 経営者会議に入会させて頂き、たいへん光栄に思っております。



長友正治 (ナガトモ マサル)
 ●生年月日 大正10年7月29日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 ㈱日本技術士会
 ●役員 理事
 ●趣味 デザイン、旅行
 ●推薦者 河野昭
 よろしくお願いたします。



橋口章 (ハシグチ アキラ)
 ●生年月日 昭和18年11月13日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 戸田建設㈱
 ●役員 海外部部长
 ●推薦者 河野昭
 在京経営者会議の皆様との集いを楽しみにしています。よろしくお願いたします。



前田洋子 (マエダ ヨコ)
 ●生年月日 昭和23年9月1日
 ●出身地 宮崎市
 ●会社名 ㈲ヨコ・インターナショナル
 ●役員 代表取締役
 ●趣味 油絵、ゴルフ
 ●推薦者 高山弘憲
 入会をきっかけに、故郷と東京をつなぐ、何らかのネットワーク構築を模索したい。



森邦彦 (モリ クニヒコ)
 ●生年月日 昭和14年9月29日
 ●出身地 高鍋町
 ●会社名 第一地所㈱
 ●役員 代表取締役専務
 ●趣味 ゴルフ
 ●推薦者 山中祥弘
 第一地所㈱はみずほフィナンシャルグループの会社です。小生は第一勧銀出身です。



宮崎県花「はまゆう」

平成13年度活動の記録

観光・物産振興部会

副部長 永野 監持

第3回

「みやざき都城ふるさと展」



にPRしよう」と「みやざき都城ふるさと物産展」が昨年5月16日～18日まで、3日間開催致しました。

開会式では同市の川崎春男収入役が「ここ東京でふるさとの都城の味を楽しんで下さい」とあいさつ、当会の高山会長らとくす玉を割り、先着150人に竹製貯金箱を贈りました。

今回の物産展の目玉は、スイカ、メロンの都城の特産品が700ヶ揃え、完売出来るかと気がかりでしたが、都城の味が首都圏の人にマツチ、完売となりました。その他会場にはラッキョウ、ツケモノ等50種以上の特産品と、弓、木刀の工芸品も即売、即売されました。

「宮崎ふるさと切手」の出張販売も順調で、物産品の売上げと同様に、回を重ねるごとに、在京経営者会議のメンバーの支援・協力は高まっています。

第4回「みやざき延岡ふるさと物産展」は5月16日～17日、2日間開催されます。

皆様の一層の御支援、御協力お願い致します。

【平成14年度賀詞交歓会】

平成14年度の賀詞交歓会が、1月19日(土)千代田区のグランドアーク半蔵門で、宮崎県からの来賓、在京宮崎懇和会から多数のご参加を頂き盛大に開催された。まず当会々長の高山弘憲様の挨拶に始まり、宮崎県東京事務所長 城倉恒雄様、日南市長 北川昌典様、宮崎県産業活性化協会副会長 石神榮志様から当会に対し心暖まるお言葉を頂き、我国の社会経済構造を根底から揺がし続ける激動の状況下にあつて、首

都圏(宮崎県在京経営者会議)と宮崎県が情報の交換を密にし、有効かつ効果的に機能する組織としての当会への大きな期待、並びに会員相互と郷土の一層の啓発、発展と共に宮崎県の更なる活性化を熱くご挨拶された。



乾杯の音頭をとる宮崎県在京経営者会議 日高顧問(宮崎県人会会長)

宮崎県産業活性化協会 宮崎県在京経営者会議 交流会・商談会・六六視察・懇親会

去る3月8日、宮崎県産業活性化協会から21名、当会員60名参加して、宮崎と首都圏をつなぐ交流会及び商談会、そして世界最大規模の大都市開発「六六開発」の視察を行った。

「六六開発」は情報発信基地として14年間にわたる計画で、日曜日には10万人の賑わいが予想されるその中にハリウッドビュートイーグループのハリウッドプラザビルも12階建て・7500坪の立派な近代的ビルで、郷土の在京経営者会議の核として今後大いに期待のできる計画である。



商談会



メイ牛山先生を囲んでの懇親会

「宮崎県在京経営者会議」との

商談会・交流会に参加して



雲海酒造株式会社 社長 中島 勝美

この度の「宮崎県在京経営者会議と宮崎産業活性化協会との商談会・交流会」に際し、在京経営者会議の高山会長様やハリウッド美容専門学校の中理事長様をはじめ、会員皆様方の積極的なお取り組みと、温かいお心遣いに接し、参加者一同大変ありがたく、感謝の念で一杯でございます。

さて、六本木再開発の視察につきましては、そのスケールの大きさにまず度胆を抜かれ、その開発の内容の素晴らしさに対しましても、羨望の眼差しでみつめるのみでございます。これまでのご苦労が捻り心よりお祝い申しあげます。今後東京での物産展や交流会の場、その会場を利用させていただくとお話しも伺い、ご期待を申し上げるとも、何はともあれ、在京経営者会議の皆様と宮崎産業活性化協会の会員が、お互

ころでございます。

又、商談会につきましては、第一回目ということに心配しておりましたが、一人一人が思いを込めて発言をされたことにより、心が打ち解け、今までになく在京経営者の方々と産業活性化の会員との距離が近づき、大変有意義で充実した会合になったものと確信をいたしました次第であります。

懇親会では、「宮崎の焼酎と郷土料理を楽しむ会」

の発会式も兼ねて開催させていただきます。また、重ねて感謝申しあげます。今回は宮崎牛をご案内させていただきましたが、今後も郷土宮崎の食材を活かした料理のご案内をさせていただきますので、お楽しみいただけます。又、我々が中々お目にかかれないメイ牛山先生のお話をお聴きすることができ、その若々しさとお話の内容に感銘を受け、その後の交流会も、皆様が十分に堪能されたものと思っております。

いの最大の目標である「地のネットワーク」を今回の交流会を契機に、今後益々深めること参加会員企業の繁栄を切に願っております。

宮崎県人事異動

◆東京事務所◆

- 所長 落合兼久
- 前所長 城倉恒雄
- 総務課長 假屋宗春
- 前総務課長 池田輝男
- 行政第二課課長 川島達朗
- 前行政第二課課長 山之内稔
- 企業誘致課課長 孫田英美
- 前企業誘致課課長 山之内点
- 前行政第一課主査 磯崎史郎
- 行政第二課主査 戸高広信
- 前行政第二課主査 谷口浩太郎
- 行政第三課主査 押川定生
- 前行政第三課主査 森山福一
- ◆東京観光物産センター◆
- 所長 清水秀一
- 前所長 田尻徳明
- ◆(社)宮崎県物産振興センター東京支部◆
- 支部長 齋藤英夫
- 前支部長 小八重征一
- 副支部長兼営業課長 吉田周司
- 前副支部長兼営業課長 森山武一郎
- 前任者の方々にはお世話になりました。

観光物産センターだより



新宿みやざき館 KONNEは平成十年三月オープンし、今年で五年目を迎えました。連日多くの方々に御来館いただいておりますが、昨年八月には全館リニューアルを行い、新たに百四十五銘柄を揃えた焼酎コーナー、名付けて「焼酎王国・宮崎」を二階に開設しました。

在京経営者会議会員の皆様におかれましても、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。



事務局ニュース

当会も11年9月に発起人会が開かれ、当初は事務局も「宮崎コンネ館」の中でスタートしましたが、今般ジャパンプロテクションの本社完成と同時に高山会長のご好意により事務所の提供をいただいております。

前任の莫毛局長の病氣退任と突然の引継ぎとなり、当初は仕事の合間に十分な活動ができるかと不安の気持ちでスタートし半年が経過致しました。

会員相互の親睦・情報交換による交流促進、故郷宮崎と首都圏の経営者がネットワークを構築することにより、観光物産振興の拡大に寄与できればと考えています。

会員の皆様のご協力をお願い致します。

会の運営活動についてご意見をお寄せ下さい。

事務局長 佐土原 正和

編集後記

今回会議誌として第4号ですが、二年振りの会報です。本来なら今年の新年号を発行するべきところ広報部の怠慢で深謝申し上げます。

そして今号も時間的余裕が無くご寄稿頂きました皆様方にはお礼申し上げます。

今後皆様のご指導を頂きこの会報の更なる充実を図る所存であります。

広報部長 杉本 幸一